(一) 845号 【昭和27年9月25日【第三種郵便物認可】 THE MIIKE (毎月1日、16日発行) 昭和43年5月1日(水)

発行所
三池炭鉱労仂組合
大牟田市不知火町2
電話③3033番
③3034番
編集兼発行人 古賀徳継
年間600円 送料共

おねがい

▼…組合員・家族の皆さん、どうか本紙にいろんなご意見や要望を寄せてください。機関紙〝みいけ〟をもっともっとみんなのものにしてゆきましょう!

家族ぐるみで「闘うメーデー」

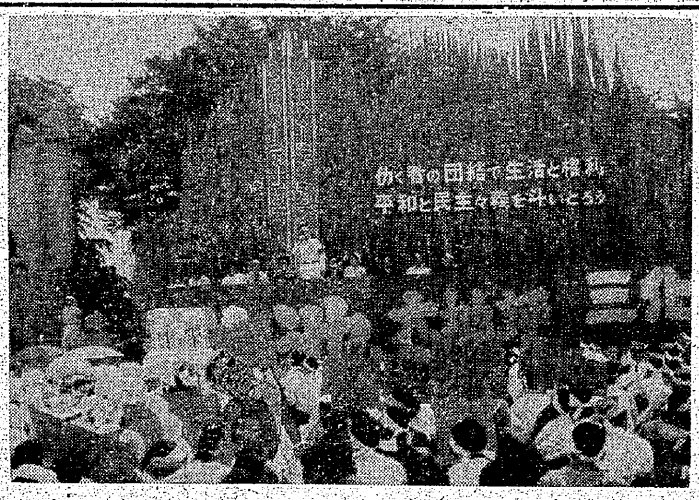
「第四次合理化阻止」「CO闘争」へ決意

第三十九回メーデーは五月晴れの一日、大牟田地区においては午前十時から笹林公園で、荒尾地区においては午後二時から市立体育館において行なわれた。

大牟田地区メーデーは三化、合成両労組のコークス分離反対闘争をへて、または、三池労組では第四次合理化阻止の闘い、CO闘争への今後の決意をあらわすプラカードが林立し、会場は活気にみちたものとなった。

全国では千九十三の会場で約六百八十万人が参加したが、プラカードにあらわれた主張には「おれは酒、タバコをやめた。佐藤君も総理大臣をやめろ」など物価値上げに対する怒りをあらわしたもの「ジョンソンお前はウソつきだ」などのベトナム侵略反対の意志をあらわすものが、全体的にめだった。

例年行なわれるメーデー文化行事は五月十二日(日)午前八時半から不知火小学校講堂で囲碁大会が五月十九日(日)午前八時半から同じく不知火小学校講堂で将棋大会がひらかれることになっている。メーデー写真展は五月十日までに大地評事務局に出品し、下旬松屋画廊で展示会がひれかれる。



第39回メーデー祭典
(笹林公園にて)

第四次 合理化反対闘争方針を決定

一、三井鉱山の出方はどうか

私たちの先制攻撃的な行動により、一時は第二組合、職員層にいたる動揺があり、後退したかに見えたが、その後着々と手を打ちながら、いわゆる体制を整えつつあり、五月十日頃には生産会議を開き、方針を明かにし、ただちに組合に提案交渉申し入れがあると判断します。したがって、五月中旬頃には、本格的な山場となってくるものと予想されます。

二、私たちの主体制はどうか

坑外職場を中心とした盛上がりも一時はあったが現在は中だるみ的ではないか。また当該職場以外の体制も不十分であり、組合員一人ひとりが第四次合理化に対する認識の不十分さとこれに対決する姿勢にかけていると判断します。また主婦会内部を点検してみても第四次合理化に対する認識はうすく、運動に取り組む姿勢はまったくかけていると判断されます。このような私たちの主体制の不十分さは、第二組合員に対して影響を与えるはずはありません。したがって、現在どのようにして主体制を確立するかが私たちのもっとも緊急なことです。

三、私たちの方針は

(1)私たちの基本的な考え方は第四次合理化の提案そのものを阻止する闘いを組み、第二組合員に同調させるだけの闘いを組むことがこの闘いの基本路線であり、そのためには五月上旬を目途に体制の確立をはかり、具体的行動をつみあげてまず坑外職場を私たちの手から離さないという行動まで発展させ、阻止する闘いであります。

(2)したがってこの闘いは、第四次合理化を阻止するための、当該職場の闘いと全職場にでてきている、増産体制にともなう諸攻撃と対決するための職場抵抗と地域闘争(主婦会も含む)の結合が何よりも必要であり、以上の三点についての体制作りを次のように具体的に取り組みます。

四、どのようにして、体制作りに取り組むか

(1)二十八月には各支部委員会を開いて、職場抵抗を中心とした意志統一をします。

職場抵抗=抗議行動等々

なお、分会長交流会議(各分会二名)を五月五日午前九時より第一・二分科会(職場抵抗)、第三・四分科会(第二対策)を開催し、経験を交流します。

(2)地域における体制作りとして、早急に分会長会議を開いて意志統一をはかります(とくに地域活動として、何をすべきかについて)

例えば、地域のマイクの活用はどうか。地域の掲示板などのように活用されているか。地域における横断幕とか、ステッカーなどを考える必要があるのではないか。地域の第二組合員や主婦たちにどうしたら理解させることができるか。通勤の際何か工夫をして、市民対策とするような方法がないか。ハガキ戦術などはどうか。

以上ばばんの一部の例にすぎませんが討論の中から創意性、自発性による闘いの雰囲気を、地域からもりあげる方法を考える必要があります。

(4)マスコミ対策を強化したい

第二組合向け、市民向けのビラ強化と、職場新聞、ポケット・ニュースの強化をはかりたいと思います。

その外、ステッカーとか、第二組合幹部と会社の現在にいたるまでの罪悪をまとめたパンフなどを作り、活動家の行動資料としたいと考えています。

なお、私たちの決意なり態度についての声明なども考えて発表したいと思います。

(4)共闘強化について

私たちの運動は階級戦線の拡大なしに成功することはできないしばしばいってきましたが、現状は必ずしも良くいっていません。今後は次の点について努力して行きます。

(イ)両地評ならびに民主的諸団体との共闘を強化し、参議院選挙闘争との結合をはかり闘いを発展させて行きたい。

(ロ)とくに福岡・熊本両県評ならびに各単産に対する仂きかけと、ビラ配布などを具体的に実施して行く。

(ハ)政治局が中心となり、市民との共闘組織を作るための努力をしたいと思います。

(ニ)オルグ派遣など「CO守る会」の問題もふくめ実施して行きます。

(5)主婦会の体制確立について

組合・主婦会の執行部が協力して、まず主婦会員に対し、きめこまかな話合いの場を作り、現状認識を深めるとともに、主婦会員のなやみを運動として発展させるための、活動をつみあげ少くとも十日頃までには、主婦会独自でも行動に立ちあがることができる程度の体制を作りたいと思います。

(6)青婦部の体制強化について

早急に青婦部としての独自の行動を組みあげる。

春闘、五月の決戦段階へ

六八年春闘は先行・中核組合を中心にかつてなく激しく闘われ、春闘共闘委員会調べで四月三十日現在、一四%程度の賃上げ率を獲得、昨年の一三・一%を上回る成果をあげている。大半の組合が大幅賃上げを獲得し、妥結の方向に向っているとはいえ、全造船機械、合化労連の半数、全港湾、全自交などが五月に持ちこし、闘いを展開しようとしている。春闘共闘委ではこれら各組合への支援体制強化を申し合わせた。

君驚き給うなかれ

—ベトナム和平と国際情勢—

国際評論家 梶谷善久

新聞も放送も近ごろはまったくうわずっている。全面をつぶしてベトナムの新情勢を特集する。臨時ニュースで新しい動きを伝える。たしかに常識や予測を裏切るニュースの連絡だ。だがびっくり仰天しているのは、もともとまちがった情報、偏よった見方にとらわれていたからではないか。

史上最大の軍事力をもったアメリカが、低開発国の人民ゲリラに押しまくられているのはおかしいという。五十余万の米軍プラス七十余万の南ベトナム政府軍、韓国軍その他の雑軍と、三十万足らずの南ベトナム民族解放戦線の対決だとすれば、解放軍が勝つのは奇跡といえよう。だがアメリカ軍が敵としているのは、三千万人を越える南北ベトナムの民衆だ、それでは勝てるはずがない。

ドル防衛につきあげられて、アメリカは和平に踏み切らざるをえなくなった。ウオールストリートも和平を歓迎して株価は暴騰した。戦争を利潤の最大の源とする資本主義としてはおかしいではないかと、ふしぎに思う向きもあろう。実は国家予算の半ば以上を占める国防費、年間二百六十億ドル(一分間五万ドル、千八百万円)の支出で、アメリカは八十カ月をこえる好況を持続してきたのだった。だが戦争はインフレをともなう。労仂攻勢を激化させる。高金利政策や増税策をとらざるをえない。その上ベトナム戦争で年間二十億ドルもの金流出となり、アメリカの金準備は百四億ドルに落ちこんでしまった。ベトナムでの出血を止めねば、ドル価格の維持が難しくなってきたのである。

ジョンソン大統領の和平提案に北ベトナムも解放戦線もとびついてこないのはおかしいという人もある。金庫を盗みだして「返せばいいだろう」といったバカな大学生がいたが、あの場合は中の金に手をつけていなかった。「北爆をやめればいいだろう」とアメリカはいうが、南北ベトナムの流血と荒廃について責任を負わずにすむことではない。アメリカの政策転換をほめ上げる政治家や知識人は故意に目をつぶってこの責任を追及しようとしない。

政権に執念を燃やしていたはずのジョンソン大統領が、大統領選への不出馬を声明したのに驚いた人も多い。勇断だとほめた人もいる。アメリカ国内の反戦機運が高まってマッカーシー議員やケネディ議員など平和候補の人気があがっていることがよく分からないから、大統領の決意が立派にみえるのだ。

かれは現職の大統領が選挙で敗北するという不名誉を避けようとしたにすぎない。

わが佐藤首相が「北爆を支持したことはない」「もともとベトナムの和平を望んでいた」のだといい、和平のバスに乗りおくれまいとアメリカへ和平特使を派遣しようとしたのは、おどろくよりもあきれた話だ。

こういう無定見と無為無策こそ自民党の本来の姿である。

かれらが愛国者であるか、売国者であるか、かれらに任せておけばアジアの新情勢にふさわしい自主、独立、平和の道へ進むのか、それとも後退するアメリカに任かせて反共軍事力を強化することになるか。そこのところをよく見きわめて、七月の参院選挙と近い将来に予想される総選挙にのぞまねばならない。

参議院選挙

投票は7月7日に

全国区 阿具根登

全国区 松本英一

地方区(福岡) 小柳勇

地方区(熊本) 大中康雄(新)